

株式会社日本アクア

平成29年12月期 決算説明会

平成30年2月21日

株式会社日本アクア
(証券コード1429)
〒108-0075
東京都港区港南2-16-2
TEL:03-5463-1117
FAX:03-5463-1118

ごあいさつ

平成30年2月9日に、当社の株式は株式会社東京証券取引所のご承認を受け、平成30年3月1日をもって東京証券取引所マザーズ市場から東京証券取引所市場第一部へ市場変更されることとなりました。

これもひとえに、株主の皆様方、お取引先様をはじめ、お力添えをいただいた多くの関係各位のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

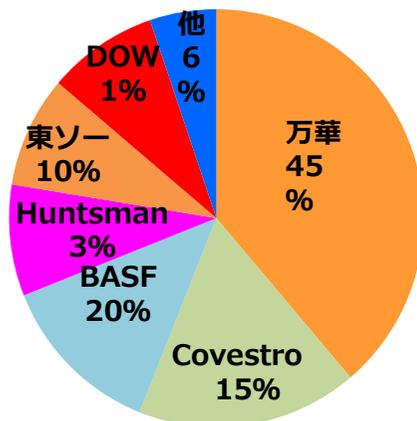
今後も皆様のご期待にお応えできますよう、更なる業容の拡大と企業価値の向上を図り、広く社会に貢献できる企業となるよう務めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社日本アクア
代表取締役社長 中村文隆

平成29年12月期の決算について

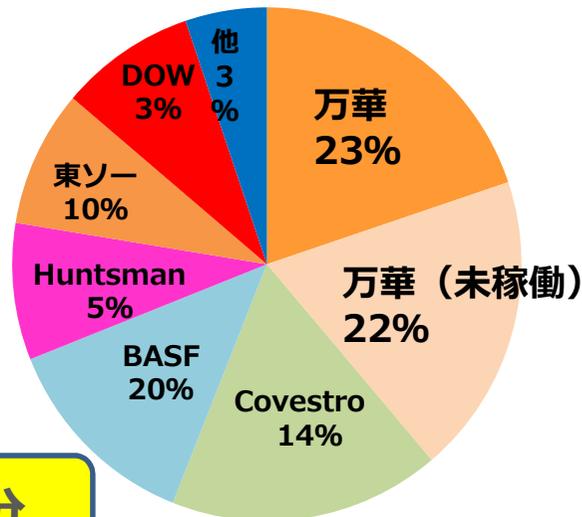
イソシアネート アジアの生産能力

2016年度イソシアネート
アジア生産能力 (400万トン/年)

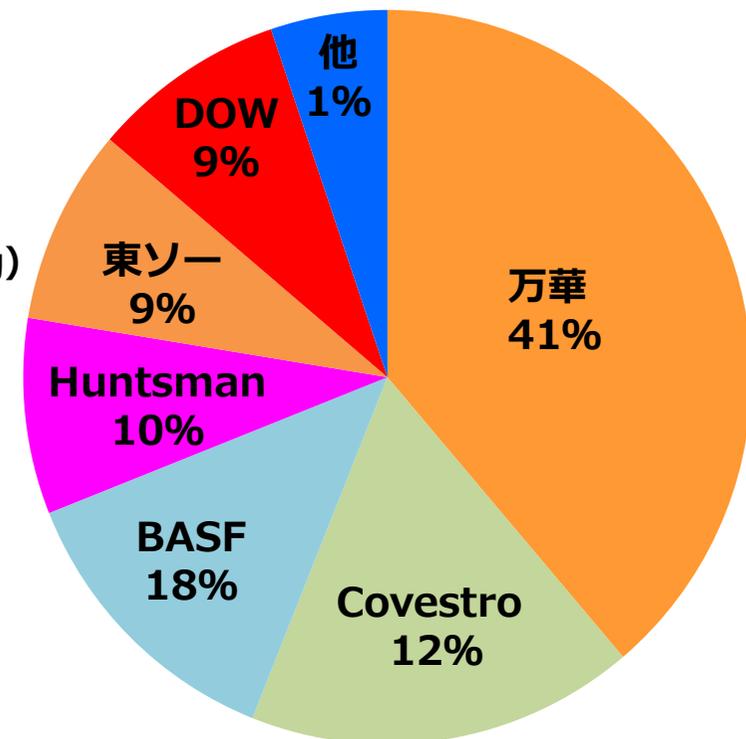


稼働率半分

2017年度イソシアネート
アジア生産能力 (420万トン/年)



2018年度イソシアネート
アジア生産能力 (480万トン/年)



稼働率後半より回復

◆市況レビュー

2016年度からアジアの生産能力は80万トン増えたにもかかわらず、2017年の夏頃より、プラントでの生産トラブルが相次ぎ、**中国の環境規制**などで稼働率が約半分となった。これにより、需給の引締まりが発生し価格が上昇した。今年の6月頃までは価格は高止まりのまま推移すると思われる。

平成29年12月期の業績



前年同期比+15.7%の増収を達成

単位;百万円

百万円	H28 1-12月	H29 1-12月	対前年
売上高	15,608	18,052	+15.7%
営業利益	1,404	1,313	▲6.4%
経常利益	1,404	1,419	+1.1%
当期純利益	979	941	▲3.9%

平成29年12月期決算の概要

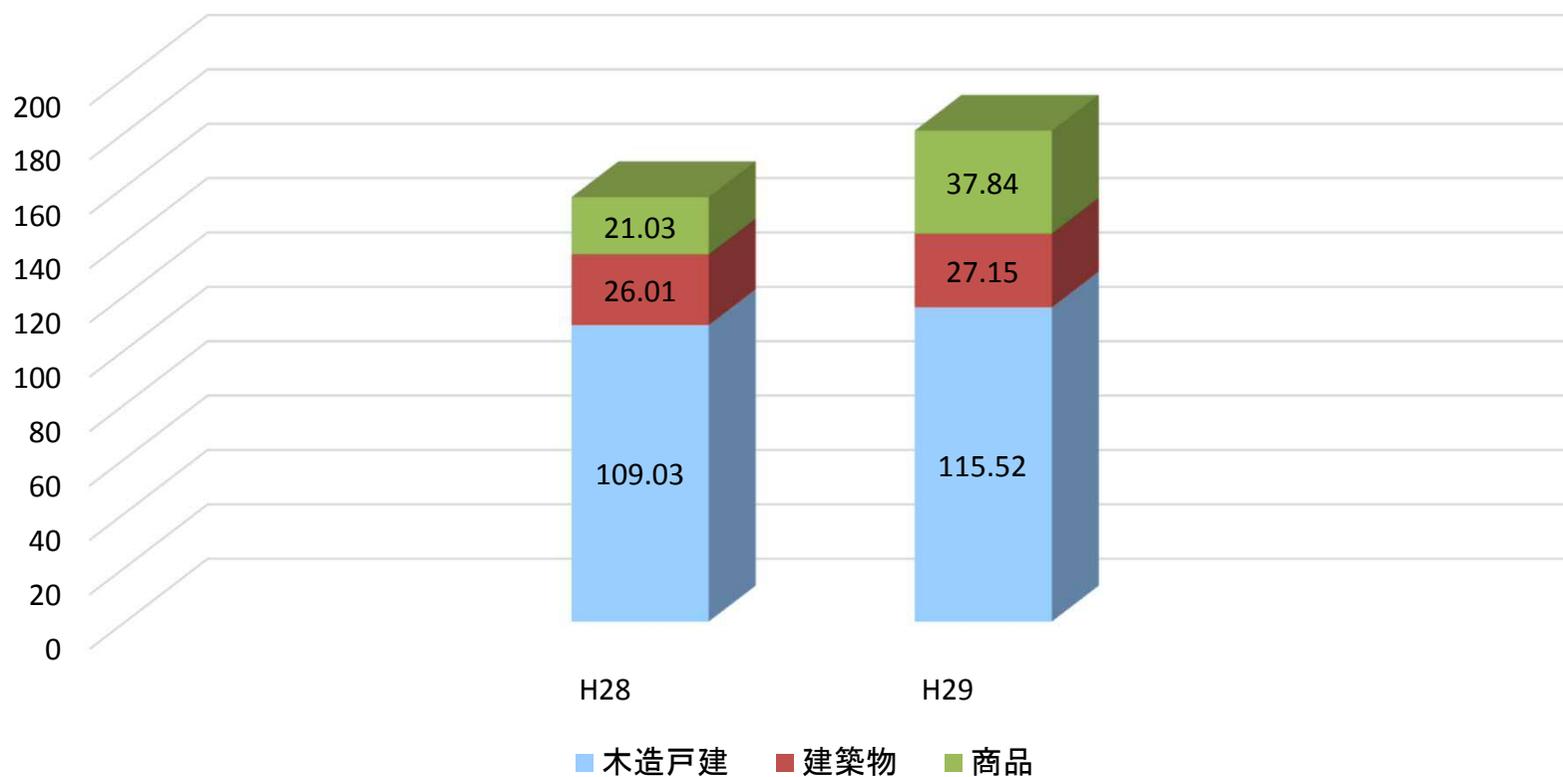


全体業績

売上高180億5千2百万円(対前年15.7%増)

部門別売上高の増減

単位:億円



平成29年12月期決算の概要

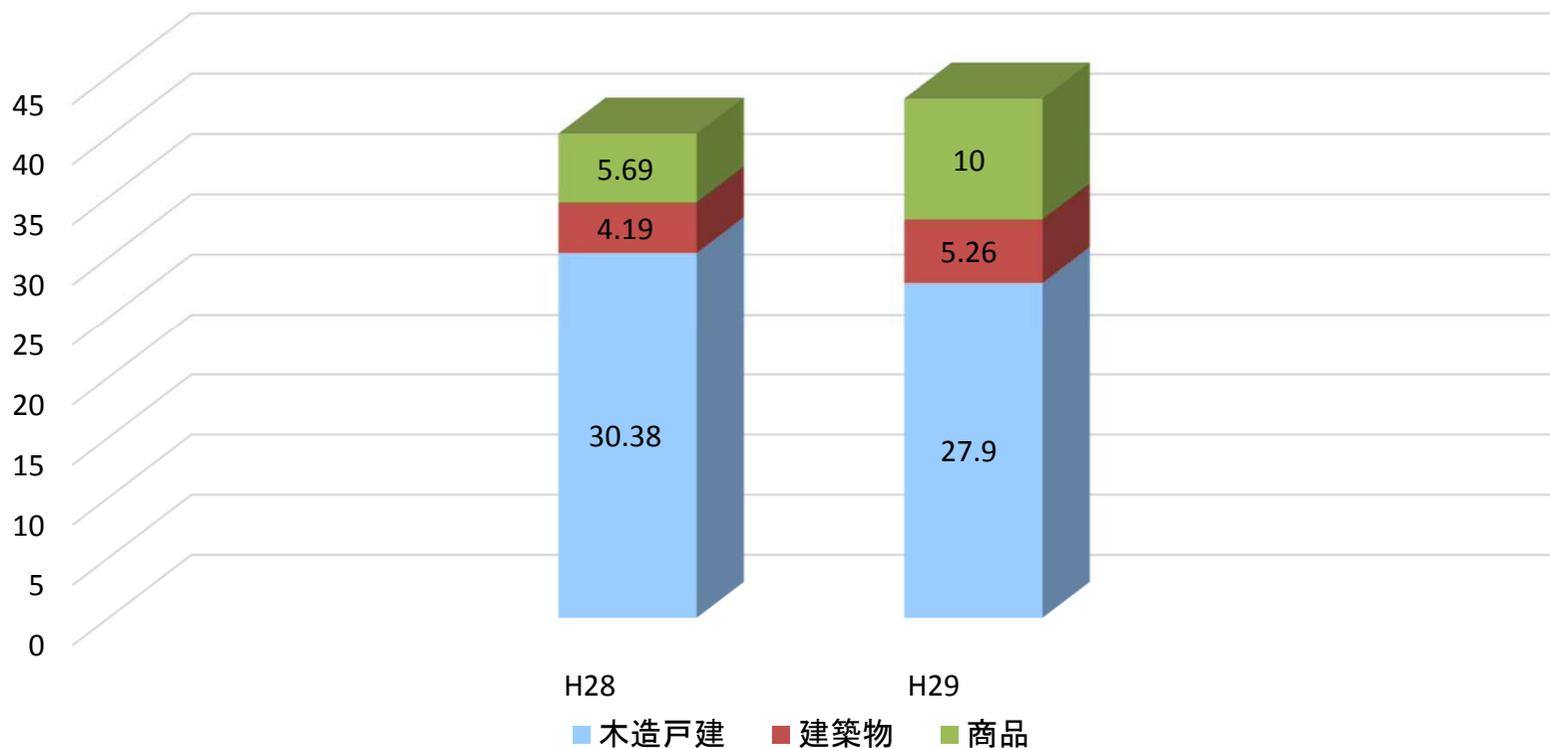


売上総利益**43**億5百万円(対前年**6.9%**増)

営業利益**13**億13百万円(同**6.4%**減)

部門別売上総利益の増減

単位:億円



P/Lサマリー



	平成29年12月期 実績 (千円)	平成28年12月期 実績 (千円)	前年 同期比 (%)
売上高	18,052,875	15,608,255	115.7
戸建住宅向け断熱材	11,552,465	10,903,524	106.0
建築物向け断熱材	2,715,864	2,601,267	104.4
商品販売	3,784,510	2,103,459	179.9
売上原価	13,747,141	11,580,944	118.7
売上総利益	4,305,733	4,027,310	106.9
(売上総利益率)	(23.9%)	(25.8%)	
販売費及び一般管理費	2,992,138	2,623,246	114.1
営業利益	1,313,594	1,404,063	93.6
(営業利益率)	(7.3%)	(9.0%)	
経常利益	1,419,305	1,404,154	101.1
(経常利益率)	(7.9%)	(9.0%)	
当期純利益	941,270	979,314	96.1
(当期純利益率)	(5.2%)	(6.3%)	

B/Sサマリー



	平成29年12月期末 (千円)	平成28年12月期末 (千円)	増減 (%)
資産合計	12,806,324	12,596,854	+1.7%
流動資産	9,326,839	9,345,359	△0.2%
固定資産	3,479,480	3,251,495	+15.3%
負債合計	7,297,775	5,933,300	+23.0%
流動負債	6,903,134	5,060,039	+36.4%
固定負債	394,581	873,261	△54.8%
純資産合計	5,508,544	6,663,554	△17.3%
株主資本	5,508,138	6,663,353	△17.3%
評価・換算差額等	406	200	+103.0%
負債純資産合計	12,806,320	12,596,854	+1.7%

CFサマリー



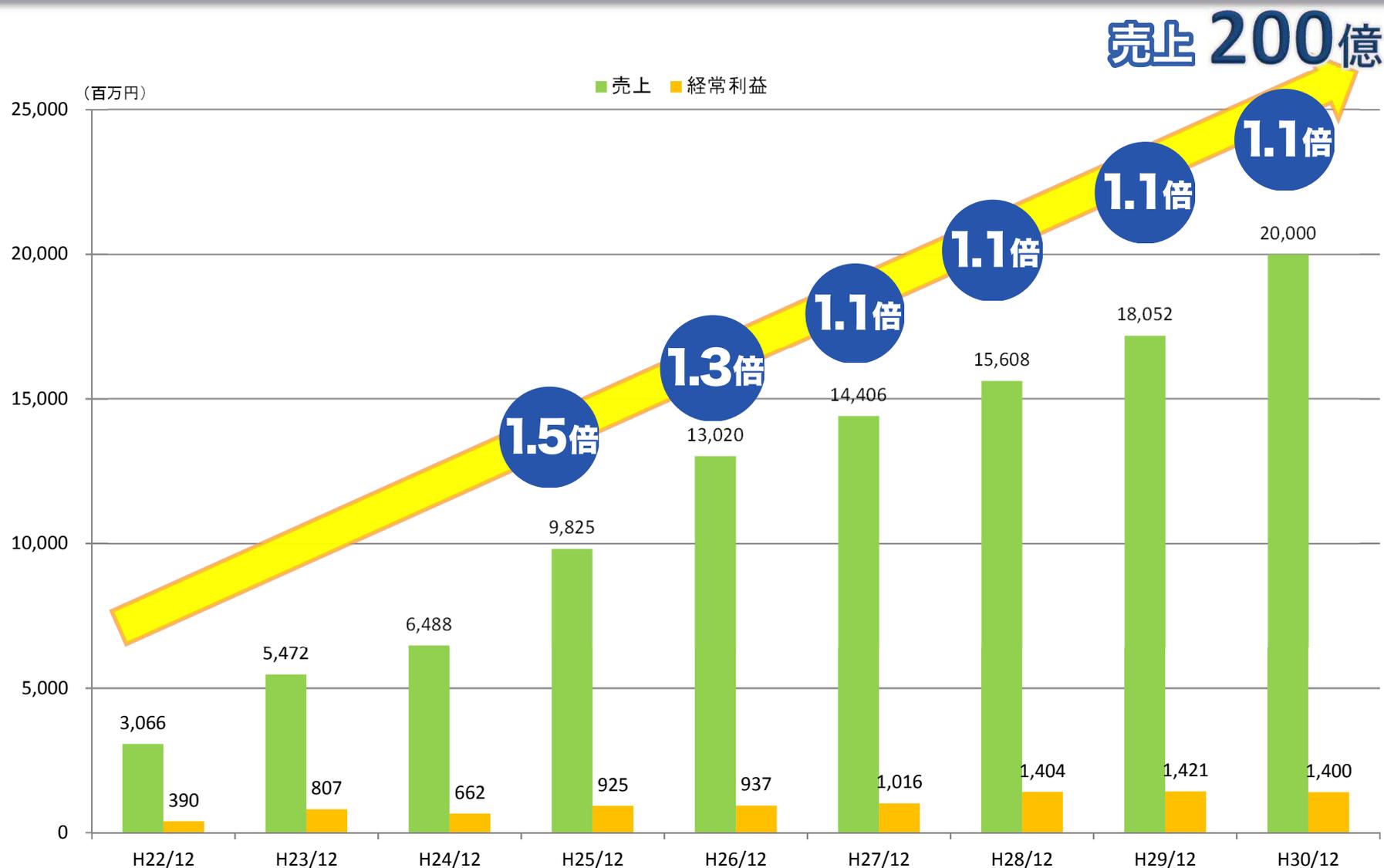
	H29(1-12月)	H28(1-12月)	主な変動要因
	(千円)	(千円)	
営業キャッシュ・フロー	447,013	1,502,787	税引前当期純利益 14億1千7百万円等
投資キャッシュ・フロー	△492,789	△834,310	固定資産取得等
財務キャッシュ・フロー	△547,643	△489,172	自己株式の取得等
現金同等物の増減額	△593,419	179,304	自己株式の取得等
現金同等物の期末残高	1,976,384	2,569,804	

平成30年12月期の予算

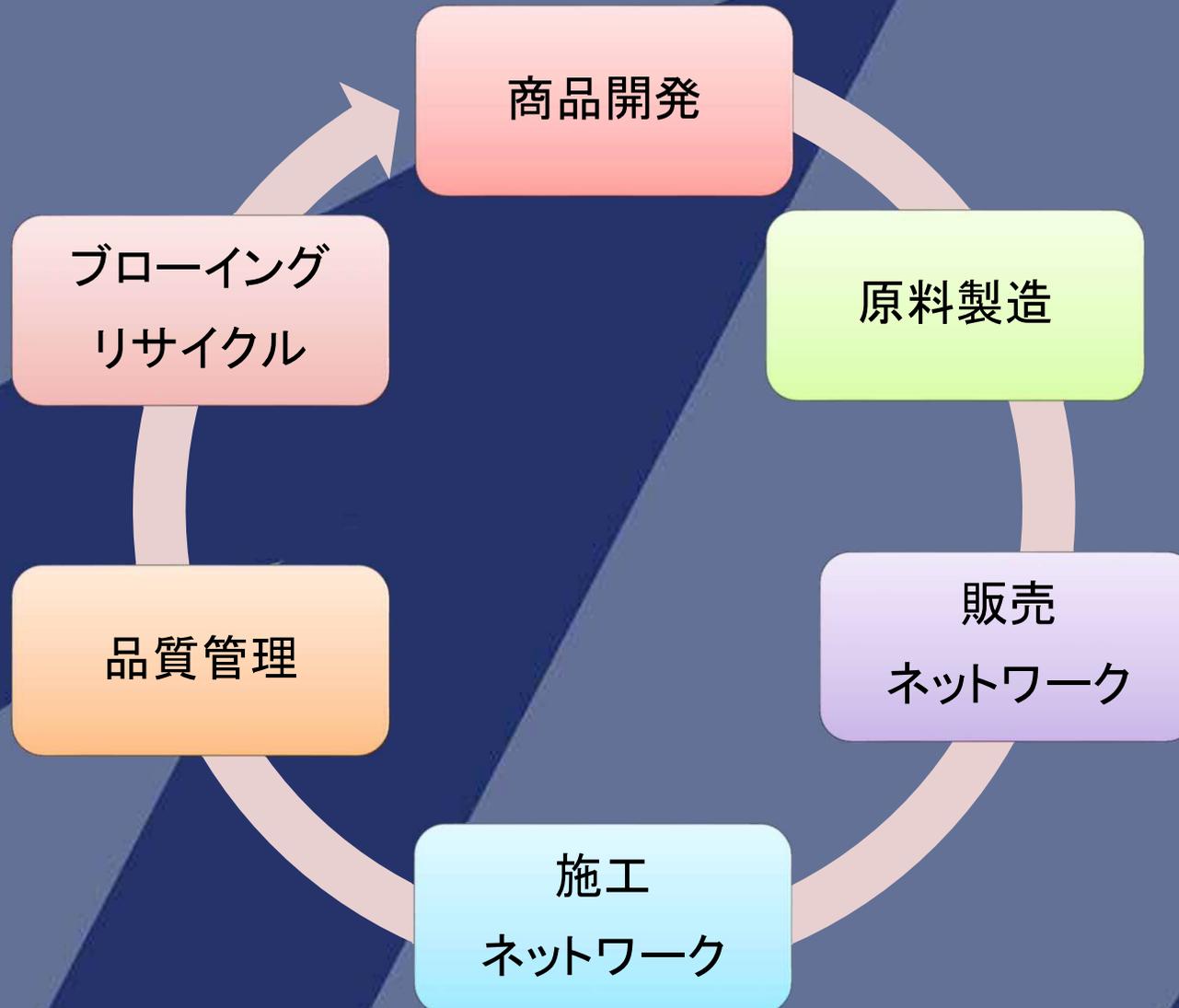


	平成30年12月期 予算 (千円)	前年 実績比 (%)	平成29年12月期 実績 (千円)	前年 実績比 (%)
売上高	20,000,000	110.8	18,052,875	115.7
戸建住宅向け断熱材	13,388,000	114.0	11,552,465	106.0
建築物向け断熱材	3,400,000	125.8	2,715,864	104.4
商品販売	3,212,000	90.3	3,784,510	179.9
売上原価	15,301,961	111.4	13,735,625	118.6
売上総利益	4,698,037	108.8	4,317,249	118.6
(売上総利益率)	(23.5%)		(23.9%)	
販売費及び一般管理費	3,278,037	109.6	2,992,138	114.1
営業利益	1,420,000	108.1	1,313,594	93.6
(営業利益率)	(7.1%)		(7.3%)	
経常利益	1,400,000	98.6	1,419,305	101.1
(経常利益率)	(7.0%)		(7.9%)	
当期純利益	891,000	94.7	941,270	96.1
(当期純利益率)	(4.5%)		(5.2%)	

業績の推移(決算期毎)



事業戦略



商品開発【テクニカルセンターの増床】



ジャーマン・インダストリー・パーク外観写真

テクニカルセンターは東京や横浜にアクセスが良く、ハイテク企業が集約する横浜市の白山パーク内ジャーマンインダストリーパークに、2013年に設置されました。

アクアフォームの原料開発から製品の品質保証・品質管理、また試験吹きによる施工の安定性の確認などを、テクニカルセンターに集約することで、あらゆる段階でのサポートを可能にしています。

名称 株式会社日本アクア テクニカルセンター

所在 〒226-0006

神奈川県横浜市緑区白山1-18-2

ジャーマン・インダストリー・パーク4F



テクニカルセンターについて①



実験室

原料開発のための基本実験を行っています



要求品質に対する設計・開発実験

- 原料開発のための調合
- ハンドミックスによる発泡
- 新規開発のための基礎研究

反応性の確認

フォームの物性確認

原料の設計・開発及び
安定供給のための基礎研究

環境試験室

試験室の温度管理を行い試験を行っています

設定温度マウス5℃～10℃



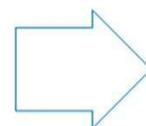
現場環境に合わせた吹付試験

施工条件の確認 反応性施工性
品質確認用の製品サンプルの吹付

設定温度マウス25℃～マウス5℃



極低温環境での試験



原液使用標準の策定

テクニカルセンターについて③



測定室

試験・検査標準を定め各種試験・測定を行っています



各種測定機器が配置されています



熱伝導率 (JISA9526)
製品の熱伝導率を測定します

HC-074/200 栄弘精機製



圧縮・接着強度 (JISA9526)
製品の強度を測定します

精密万能試験機AGS-X SHIMADZU

原液及び製品の物性測定

JIS規格への適合性確認

原液・製品の性能評価



原液測定
水分計・粘度計など原液の測定をします

新商品の開発(現場の意見をカタチにする)



防蟻効果を持った商品の上梓

防蟻断熱材
アクアフォーム **NEO** + TP
アクアフォーム + TP

2種類の防虫剤で防蟻
及び防虫効果を発揮。
(農林水産省登録品と同等成分)

現場発泡断熱材 No.1*1の
日本アクアから、防蟻シリーズ新発売



不燃化への取り組み



東京大学との建材
の燃焼機構解析の
共同研究でオープン
イノベーションの取り
組みを加速。



NEWS RELEASE

2016年7月12日
株式会社 日本アクア

東京大学との共同研究開始のお知らせ

株式会社日本アクア(本社:東京都港区、社長:中村文隆)は、東京大学工学部と共同で断熱材の燃焼性を含めた性能寿命を予測する研究を開始いたしましたのでお知らせいたします。

当社はかねてより企業の社会貢献活動として、産学の英知と経験を結集して安全・安心・健康に使用できる断熱材を提供するための研究を行うべく、オープンイノベーションにより共同研究の準備を進めてまいりましたが、この度、東京大学工学部建築学科野口研究室と共同で研究を開始いたしました。具体的な研究内容は下記の通りです。

具体的共同研究テーマ

- ・建築用断熱材の燃焼性と耐久性に関する共同研究
- ・ウレタン・スチレン・グラスウール等の断熱材の発熱性試験
- ・ガス有害性試験
- ・燃え広がり試験
- ・VOCの測定
- ・断熱材の性能寿命予測評価

研究期間: 2016.4.1~2017.3.31

《お問い合わせは日本アクア本社: 03-5463-1117まで》

原料製造(ブレンドから品質管理まで)



国内外のプラントにて当社オリジナル処方原料を製造



JISマーク表示製品認証を取得



委託先工場を管理する形で日本初!

当社の製造する鉍工業品(自社製造原料)及びその加工技術の工場並びに事業所について、JISマーク表示製品として認証を取得。

販売ネットワーク(断熱メーカー随一の営業所数)



岡山営業所



大阪営業所



仙台営業所

営業所にストックポイントを新設し
日本全国へ効率的に製品出荷



埼玉営業所



鳥栖営業所



名古屋営業所



本社



テクニカルセンター
(H30.増床)

施工ネットワーク(断熱業界最大規模)



トレーニングセンターで技術習得
サポートする体制も万全

中部
ブロック

東北
ブロック

関東
ブロック

全国**40**拠点

施工台数**451**台

認定施工店 **315**社

北陸・
甲信越
ブロック

中四国
ブロック



九州
ブロック

関西
ブロック



見積→受発注→現場管理をシステム管理

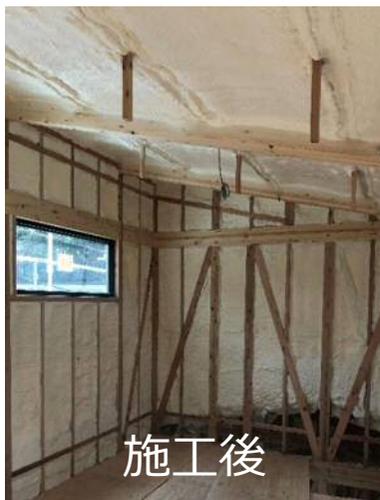


QRコードに現場情報を入力することで現場の施工情報を共有する。



施工前

安全対策確認及び部位毎の施工前、施工後の写真



施工後

《工事完了確認書兼納品書》

領 日本ア Qua 倉敷営業所 様 <https://system.nippo-aqua.com/entry/001001> 受注番号: 22015 施工番号: 10510

現場名	森山隆介様邸 新築工事								
工務店・建設会社様名	株式会社おま建築設計様	現場ご担当者様							
竣工完了日	2018/02/06	施工責任者							
原 資 仕 務	A床(ポリフォーム)	Lot No.		原資計量					
<input type="checkbox"/> A壁B アクアフォーム	<input type="checkbox"/> B15色 ポリフォーム	数量	cm						
<input type="checkbox"/> B15色 アクアフォーム	<input type="checkbox"/> B15色 ポリフォーム	数量	kg						
<input type="checkbox"/> B15色 アクアフォーム	<input type="checkbox"/> B15色 ポリフォーム	A床(ポリフォーム)	Lot No.	原資計量					
<input type="checkbox"/> B15色 アクアフォーム	<input type="checkbox"/> B15色 ポリフォーム	数量	cm						
<input type="checkbox"/> B15色 アクアフォーム	<input type="checkbox"/> B15色 ポリフォーム	数量	kg						
<input type="checkbox"/> B15色 アクアフォーム	<input type="checkbox"/> B15色 ポリフォーム	B15色(インテグレート)	Lot No.	原資計量					
<input type="checkbox"/> B15色 アクアフォーム	<input type="checkbox"/> B15色 ポリフォーム	数量	cm						
<input type="checkbox"/> B15色 アクアフォーム	<input type="checkbox"/> B15色 ポリフォーム	数量	kg						
作業環境・機材設定	天候	外気温 (°C)	室内気温 (°C)	室内湿度 (%)	吹付面積	A材温度 (°C)	B-15温度 (°C)	ホース温度 (°C)	圧力 (bar)
A床									
A床									

*下記内容の通り施工完了致しましたので、ご報告させていただきます。 *確認欄は○印で記入下さい。

施工箇所 (原資/品名)	吹付施工完了内容		確認欄
2階主梁根 (アクアフォーム)	厚み	数量	有・無
1階下層 (アクアフォーム)	厚み	数量	有・無
1階バルコニー下 (アクアフォーム)	厚み	数量	有・無
2階外壁 (アクアフォーム)	厚み	数量	有・無
1階外壁 (アクアフォーム)	厚み	数量	有・無
1階1B基礎立上り土間 (アクアフォーム)	厚み	数量	有・無
	厚み	数量	有・無

下記の手順通り、安全対策を実施して施工を行った
ヘルメット着用 → フック取付 → 安全ネット取付 → 選取設置 → コンパネ設置

施工面の汚れ、結分、水分など	有・無
テスト発泡時の異常な取崩	有・無
厚みピンによる施工厚みの確認および指定数量の取付を行った	
施工厚み以上で閉栓からはみ出た部分および指定部分のウレタン削り処置を行った	
ウレタン発泡による開口・サッシ廻り・ガラス等に汚れが軽いたことを確認した	
施工部位 (壁・屋根・床等) のウレタンに開孔穴またはヒビ割れが軽いたことを確認した	
養生材 (シートやテープなど) は全て撤去し、鏡面に清掃を行った。また、残材ゴミは全て持ち帰った	
施工前、中に「天井下地用野縁」が施工しており、施工しづらい又は施工不能の場所の有無	有・無
壁に深さ20cmを超える石膏ボードが既に施工され、施工しづらい又は施工不能の場所の有無	有・無
作業終了後の開口部の閉鎖および取付を確認した	
「施工要領及びその手順」及び「木造施工要領」を遵守して施工を行った	

※ 備考欄 ※ (監督様から特別な仕様変更など指示があった場合、こちらに御記入ください。)

*確認欄は○印で記入下さい。

上記工事の施工完了を確認致しました。

平成 年 月 日

現場担当者: _____

平塚 年 月 日

住 居: _____

会社名: _____

上記工事の施工を完了しました。

平成 年 月 日

住 居: _____

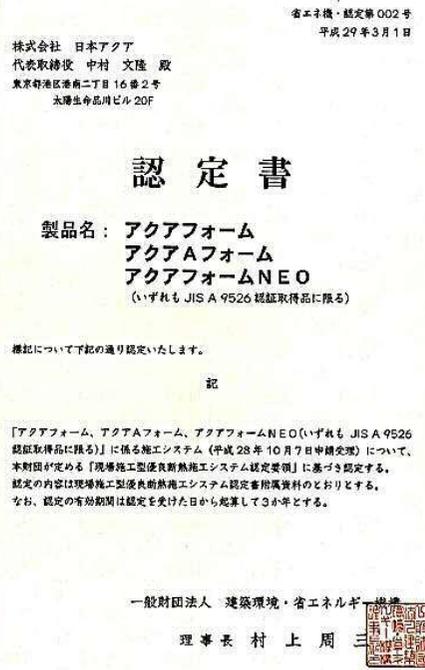
会社名: _____

工事完了報告書兼納品書 1/1 2018/2/6

品質管理(原材料の品質と現場品質の確保)



Institute for Building Environment and Energy Conservation



環境建築省エネルギー機構 (IBEC) より現場施工型優良断熱施工システムの認定を取得。

アクアフォーム・アクアAフォーム・アクアフォームNEO (JIS A9526)



品質監理項目一覧

項目	管理基準	確認方法	期度
対象建築物	構造、工法、制度、基準等		
事前確認	施工内容 使用材料	指示書との照合	事前調査
施工準備	原料仕様確認	指定されたメーカー、種類	目視
	環境湿度	断熱使用環境内	
施工前確認	施工面の温度	断熱使用環境内	目視
	施工面の水分	全面で無いこと	
	施工面の汚れ	全面で無いこと	
養生作業	養生の取捨	濡れていないこと	目視
	養生の種類	異常が無いこと	
	養生の仕様	経年劣化であること	
施工確認	吹き付け状態	目視	目視
	吹き付け厚	規定値であること	
	吹き付け圧力	規定値であること	
	吹き付け回数	規定値であること	
アフター確認	収縮	異常な収縮が無いこと	目視
	変色	異常な色むらが無いこと	
	スプレーボタン	適正な状態 (レバゲダ等) であること	
	吹き付け方法	適正な状態 (レバゲダ等) であること	
吹き付け品質	吹き付け厚	規定値であること	目視
	吹き付け圧力	規定値であること	
	吹き付け回数	規定値であること	
	吹き付け状態	異常な収縮が無いこと	
仕上がり検査	厚さ	規定値以上であること	目視、計測
	収縮	異常な収縮が無いこと	
	変色	異常な色むらが無いこと	
	スプレーボタン	適正な状態 (レバゲダ等) であること	
片付け	吹き付け厚	規定値であること	表示確認
	吹き付け圧力	規定値であること	
	吹き付け回数	規定値であること	
	吹き付け状態	異常な収縮が無いこと	
完了	表示	規定値であること	目視、計測
	表示	規定値であること	

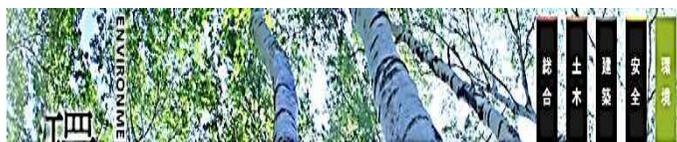


品質パトロールカーにて、全国で品質パトロールを実施。

大手ゼネコンの産廃再資源化モデル構築



広域認定制度を利用したリサイクルの流れ



ホーム > 産廃 > 広域認定制度【メーカー製】 (株)日本アクア 認定第253号

(株)日本アクア 認定第253号

<p>0 再生方法・場所</p> <p><再生方法> 日本アクア製造の原料を使用した現場発泡ウレタン断熱工事に発生したウレタン断熱材塊材を、ウレタン製のフローリング断熱材(特許取得)の原料として再利用</p> <p><処理施設場所> 名古屋工場 愛知県名古屋市長区寛政町1-35-1(株)日本アクア名古屋営業所内 仙台工場 宮城県仙台市宮城野区若竹3-4-23(株)日本アクア仙台営業所内</p>	<p>0 手続き</p> <p>[回収前]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排出事業者(本社または支店)と日本アクア間で基本契約の締結 <p>[回収現場]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「回収依頼書」の記入・日本アクアの管理営業所へFAX(回収日・施工予定数量等)⇒ウレタン断熱材の回収 ・受渡確認書の発行
--	---



収集 → 生産 → 製品 → 施工



名古屋・仙台のアクアブローファクトリー



日建連加入の環境部会担当者のサポートを武器に、現在スーパーゼネコンへ周知しており個別展開から全国的な展開に繋げていきます。

現在、**日本建設業連合会**のホームページに於いて日本アクアの**広域認定**の取り組み公開中。

アクアブローから始めるCSVの取り組み



CSVとは、CSR（企業の社会的責任）の発展形と言われることもありますが、CSVは、企業にとって負担になるものではなく、**社会的な課題を自社の強みで解決**することで、企業の持続的な成長へとつなげていく「**3方良し**」の差別化戦略です。



2017年アクアブロー生産量は4,713袋（23,310kg）CO2抑制量 59.44t

アクアブロー再資源化の取り組みは1年間でブナの木**5,400本分**のCO2を吸収しています。

※産業廃棄物の廃プラスチック類の焼却に伴い発生するCO2については、「温室効果ガス排出量計算のための算定式及び排出係数一覧」（環境省）

ブナの木1本のCO2吸着量は独立行政法人 森林総合研究所試算を参考にしています。

営業戦略

木造戸建住宅向け断熱材事業



売上計画133.8億円(対前年14.0%増)

- 国の「エネルギー基本計画（2014年4月閣議決定）」において、ZEHの実現・普及及び目標が設定されている。
 - 2020年までに、標準的な新築住宅でZEHを実現
 - 2030年までに、新築住宅の平均でZEHを実現
- 未来投資に向けた官民対話（平成27年11月）
総理発言抜粋「住宅の省エネを促進します。2020年までに、ハウスメーカー等の新築戸建ての過半数をZEH化するとともに、省エネリフォームを倍増します。」

住宅の省エネ化を強力に推進

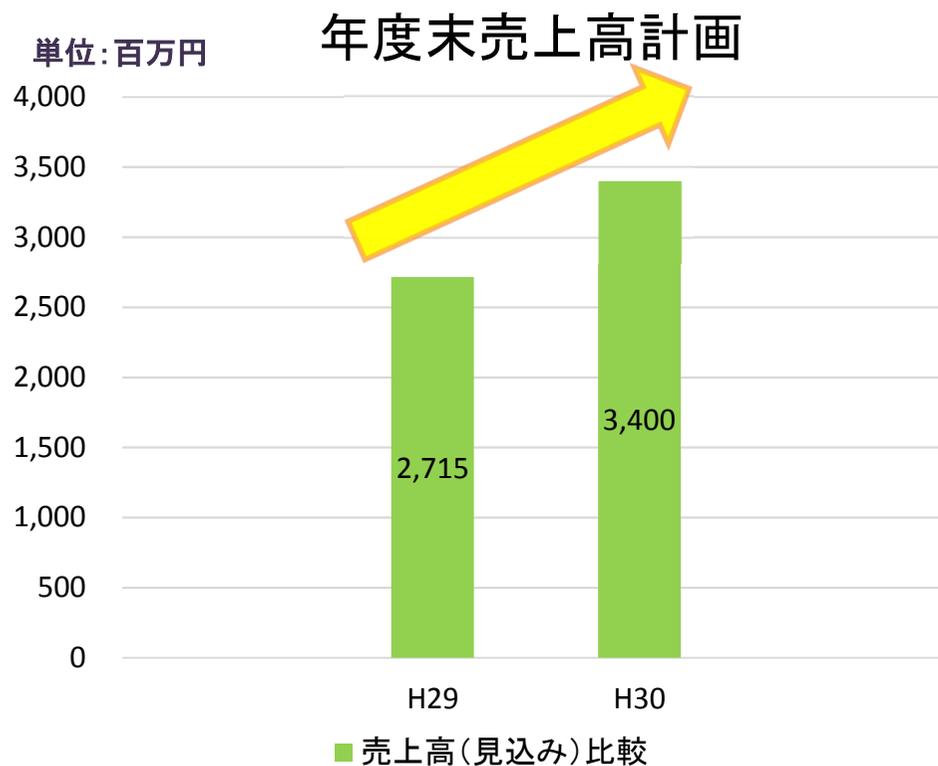
ロードマップ



建築物向け断熱材事業



売上計画34億円(対前年25.8%増)



平成29年度(第14期)建築営業部 受注残状況

	(単位;百万円)	
	2017年1月	2017年12月
実績及び受注残	1,506	3,745



当社のブローイング工場の一般社団法人日本建設業連合会・大手ゼネコンによる視察の様子

リフォーム断熱事業(商品販売)



売上高計画7.2億円

交通事故死亡者 < ヒートショック死亡者

↑ 外より家がキケン!?

ヒートショック

ご存知ですか?

▶ 交通事故より死亡率が高い

真冬の住宅は室温差が命取りになります。特に高齢者は注意が必要で、外出するよりよほど危険度が高いのです。

交通事故死亡者数 **3,694人** < ヒートショック死亡者数 **全国19,000人**

※「平成29年中の交通事故死者数について」「厚生労働省科学研究費補助金 入浴中関連事故の実態把握及び予防対策に関する研究」(2014年)

戸建住宅 (シェア No.1) の日本アクア
吹付断熱

リフォーム市場へ参入!

リフォームカーでアクアフォームを自社施工しませんか?

**全国加盟施工店
大募集!!**

築20年以上経過の家

住宅ストック約5,000万戸の断熱性能

4割が断熱無	H11基準 6%
H4基準 19%	
SG5基準 37%	
38%	

※H11基準は2013年10月1日より施行

床下から冷たい風が...

このままだと危険です!

ヒートショック発生!

アクアフォームで断熱すると

家中あつたが!

アクアフォームなら安心です!

右隣目・トイレも冷え知らず!



売上計画 **25** 億円
住環境の向上のための製品開発



専用発泡機



1液性ハンドタイプも
ホームセンターやECサイトで販売中

1 通気層確保用スプレーサー **遮熱**

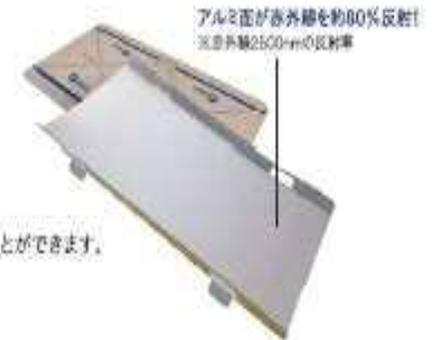
通気スプレーサー AQUAIR SILVER

アクエアールシルバール 特許権・意匠権取得済

特徴

- アルミコーティングにより赤外線を反射、放射熱(輻射熱)を抑えます。
- アルミ面に保護層を設けているため長期にわたって遮熱効果が持続します。
- 垂木間にはめ込み、タッカー留めするだけで簡単・確実に通気層(約35mm)を確保することができます。
- 透湿性があるので、湿気の排出を妨げません。

通気スプレーサーAQUAIR スタンダードタイプの「アクエアール」もご利用してB1ります。



6 壁用 透湿・防水シート **遮熱**

AQUA SILVER WALL Lite

アクアシルバールウォールールライト

特徴

遮熱性

- 特殊なアルミ透湿防水フィルムを採用し、長期に渡り効果的な遮熱が可能。
- 屋内の冷暖房効率が向上し、省エネルギーに貢献。

「熱カット率98%以上」アルミ透湿防水フィルム(片面)で高い遮熱性能を確保。

透湿性・防水性・防風性

- 壁体内の湿気を外に逃がして結露を防止、また外部からの雨水や風の侵入を防止、断熱材の性能を維持しつつ、住宅の寿命を向上。

施工性

- 1本、4.25kgと軽量で作業性も良好、直径も小さいため片手で施工できます。

※外壁材裏面と透湿シートとの間の通気層確保についてはご注意ください。



「AAA」 平成28年7月24日設立

トリプルエー

AAAから日本アクアへ異動
フィリピン人社員を異動し全国へ配置！！



フィリピン ダバオ 15名



フィリピン マニラ 15名



外国人実習生も積極的に受入れ

損益計画

(単位:百万円)

期 別 項 目	平成30年12月期			平成31年12月期			平成32年12月期		
		百分比%	前期比%		百分比%	前期比%		百分比%	前期比%
売上高	20,000	100	110.7	21,600	100	108.0	23,500	100	108.8
営業利益	1,420	7.1	108.1	1,866	8.6	131.4	2,122	9.0	113.7
経常利益	1,400	7.0	98.6	1,849	8.6	132.1	2,099	8.9	113.5
当期純利益	891	4.5	94.7	1,187	5.5	133.2	1,352	5.8	113.9

平成32年12月期に売上高235億円を目指します



- 会社名 株式会社 日本アクア (Nippon aqua Co., Ltd.)
- 代表取締役 中村 文隆
- 本店所在地 〒108-0075 東京都港区港南2-16-2
- 事業内容 建築断熱用硬質ウレタンフォームの開発・製造・販売・施工
住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売
- 従業員数 427人(単体:平成29年12月末現在)
- 設立年月日 平成16年11月29日
- 資本金 18億93百万円
- 発行済株式総数 36,220,000株(平成29年12月末現在)
- 株主数(平成29年12月末現在、総株主数2,395名)



本資料に記載されている当社の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先 : 株式会社日本アクア
経営企画部
電話番号 : 03-5463-1117
Web : <http://www.n-aqua.jp/>